



神石のひと

合同会社 結ファーム

たかはし とわ すえはら けいすけ
高橋永遠さん 末原啓亮さん



油木学校で出会って、夢だったトマト生産をはじめて今年で3年目の25歳のふたりが営むほ場は、色づきはじめてトマトでいっぱいでした。(6月21日)

Q. トマト生産をやりたいと思ったのはいつ頃からですか？
油木高校の産ビ(産業ビジネス課)に入學して農業に触れるうち、農業っていいなと思うようになったんです。色々な農作物の栽培を勉強したんですが、トマトは神石の特産品だし、将来はトマトやりたいなとふたりで話していたんです。産ビが

高校生の時から トマトやりたかったんです

油木高の産ビが楽しかったから

Q. 今年のトマトの生育は順調ですか？

はい。7月上旬から出荷する予定です。今年は40アールのほ場に7,800本の苗を植えました。去年の収穫時期はたくさんの方にアルバイトをお願いして、地元の高校生も来てくれました。去年より苗を増やしたので、もっと忙しくなりそうだけど、たくさんの人においしいトマトを食べてもらいたいですね。

結ファームでは夏季のアルバイトを募集しています。問合せは高橋永遠さんか神石協働支援センターまでご連絡ください。



取材の日(6月21日)は7月上旬の出荷に向けて、おいしいトマトになるように摘果の作業中でした。

開演 14:00 閉演 16:30
開場 13:30
場所 総合交流センターじんせきの里
講演 ながの村自治振興会 横山英揮
九州大学名誉教授 吉村和久
アジア洞窟学連合副会長 後藤聡

9/9(土)
入場無料



ながの村自治振興会 横山英揮さんが幻の鍾乳洞の再発掘とまちづくりについて講演されます。入場は無料で申込は不要です。ぜひお越しください。

日本洞窟学会 第49回帝釈台大会
公開講演会
「世界が認める『幻の鍾乳洞』の魅力」

ゲームで知ろう『SDGs de 地方創生』

6月23日(金)伊藤博暁さんを講師に迎え、みんなが個々に実践しているまちづくりが地域を持続する可能性にどう繋がり、みんなの行動が地域にどう影響しているか感覚的に体感できるゲーム「SDGs de 地方創生」を活用し研修会を行いました。



あっという間に時間となり、振り返りではたくさんの意見が出ました。



自分のスキルをアピールし協力を求め合いながら仮想のまちづくりゲームを進めました。「何もしいないまちの衰退」「共通の目的を掲げ、住民・企業・行政がそれぞれの課題に取り組む必要性」「ゲームと割り切れないほど現実的で切実」などの感想が尽きませんでした。この研修を今後の部会へ反映させたいと思います。

合同部会研修会報告

Designer 毛利信行(アンディワークス), Writer 宮崎園子, Photographer 内田和豊, Editor 山根尚子(編集課)/協力:広島県 00